

報道関係各位

Withコロナな夏に緊急調査！

住みたい街ランキング賃貸編が大変動し、“脱・都心”が顕著に

『LIFULL HOME'S コロナ禍での借りて住みたい街ランキング』首都圏版が公開

4年連続1位の「池袋」が5位、2位「川崎」が12位にランクダウン

不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」等の住生活情報サービスを提供する株式会社LIFULL（ライフル）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井上高志、東証第一部：2120）は、新型コロナウイルス感染症の中期的な「住みたい街ランキング」への影響を明らかにするべく「LIFULL HOME'S」に掲載された物件のうち、実際の間合せ数から算出した『LIFULL HOME'S コロナ禍での借りて住みたい街ランキング』を緊急発表しました。



https://www.homes.co.jp/cont/data/corona_s_ranking_shutoken/

LIFULL HOME'S コロナ禍での借りて住みたい街（駅）ランキング

順位	前回比	駅名（代表的な沿線名）	都道府県
1位	3位アップ↑	本厚木（小田急小田原線）	神奈川県
2位	キープ→	葛西（東京メトロ東西線）	東京都
3位	2位アップ↑	大宮（JR東北新幹線ほか）	埼玉県
4位	10位アップ↑	千葉（JR総武線ほか）	千葉県
5位	4位ダウン↓	池袋（JR山手線ほか）	東京都
6位	14位アップ↑	西川口（JR京浜東北・根岸線）	埼玉県
7位	6位アップ↑	高円寺（JR中央線ほか）	東京都
8位	3位アップ↑	蕨（JR京浜東北・根岸線）	埼玉県
9位	2位ダウン↓	八王子（JR横浜線ほか）	東京都
10位	12位アップ↑	町田（JR横浜線ほか）	東京都
11位	5位ダウン↓	三軒茶屋（東急田園都市線ほか）	東京都
12位	9位ダウン↓	川崎（JR東海道本線ほか）	神奈川県
13位	8位アップ↑	船橋（JR総武線ほか）	千葉県
14位	2位アップ↑	柏（JR常磐線ほか）	千葉県
15位	2位アップ↑	三鷹（JR中央線ほか）	東京都

順位	前回比	駅名（代表的な沿線名）	都道府県
16位	8位ダウン↓	荻窪（JR中央線ほか）	東京都
17位	2位アップ↑	小岩（JR総武線）	東京都
18位	キープ→	新小岩（JR総武線ほか）	東京都
19位	13位アップ↑	川口（JR京浜東北・根岸線）	埼玉県
20位	14位アップ↑	津田沼（JR総武線ほか）	千葉県
21位	12位ダウン↓	吉祥寺（JR中央線ほか）	東京都
22位	10位ダウン↓	中野（JR中央線ほか）	東京都
23位	23位アップ↑	立川（JR南武線ほか）	東京都
24位	14位ダウン↓	北千住（JR常磐線ほか）	東京都
25位	1位ダウン↓	綾瀬（JR常磐線ほか）	東京都
26位	18位アップ↑	八潮（つくばエクスプレス）	埼玉県
27位	13位アップ↑	平塚（JR東海道本線ほか）	神奈川県
28位	5位ダウン↓	大井町（JR京浜東北・根岸線ほか）	東京都
29位	33位アップ↑	橋本（JR横浜線ほか）	神奈川県
30位	15位ダウン↓	浦安（東京メトロ東西線）	千葉県

「コロナ禍での借りて住みたい街ランキング」首都圏版

テレワーク浸透の影響か？4年連続1位の「池袋」が5位に、「三軒茶屋」「川崎」などの人気エリアもランクダウン。ユーザーの注目が首都圏郊外部に拡散

「コロナ禍での借りて住みたい街ランキング」1位は小田急小田原線の「本厚木」となりました。新型コロナウイルス感染症流行前である今年2月に公開した「2020年LIFULL HOME'S借りて住みたい街ランキング（2019年・年間調査）」でも4位にランクインした人気の街ですが、都心・近郊エリアが軒並み順位を下げた中、準近郊・郊外エリアに位置する街の代表格としてトップに躍り出ました。他にも、「大宮」「千葉」「八王子」「津田沼」「立川」「八潮」「平塚」など、都心のオフィス街から離れた街が上位に多数登場しています。上位の街の共通点は「多少都心方面へのアクセスには時間がかかるものの、電車を乗り換えずに済むエリア」「郊外のターミナル駅で駅勢圏が比較的広く、生活利便性がある程度担保できそうなエリア」です。テレワーク（在宅勤務）を導入する企業が増え通勤時間への考慮が軽減したことで、都心近くの利便性だけでなく、「感染リスクに対する安全性・安心感にも着目して住むところを選びたい」という意識が高まったことがうかがえます。

一方、同ランキングにおいて4年連続1位を記録していた「池袋」は今回5位に後退。同じく都心・近郊の人気エリアである「三軒茶屋」が11位、「川崎」が12位へと後退しており、コロナ禍で都心・近郊の生活利便性よりも準近郊および郊外の相対的な安全性や安心感、在宅勤務にも適した住環境が叶うエリアであることを重視して街選びをしようという意向が考察できます。

さらに、これら賃貸ユーザーの「郊外化志向」が1都3県の範囲にとどまらず、より都心から離れたエリアにも拡散している可能性を鑑み、LIFULL HOME'Sでは首都圏周辺に位置する6県（茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県、静岡県）も対象に含めた【1都9県】のランキングも発表しました。その結果、問合せ件数1位が「水戸」、2位「本厚木（首都圏1位）」、3位「宇都宮」という上位3位に都内の街が含まれないランキングとなりました。

【1都9県】版詳細は[こちら](#)をご参照ください。

「コロナ禍での問合せ増加率ランキング」首都圏版

東京近隣県の都市が大躍進！千葉県郊外エリアの街がベスト3独占。

1位は「八街」で増加率146%

LIFULL HOME'S コロナ禍での問合せ増加率ランキング

順位	増減率	駅名（代表的な沿線名）	都道府県
1位	146.2%	八街（JR総武本線）	千葉県
2位	140.3%	姉ヶ崎（JR内房線）	千葉県
3位	134.7%	大網（JR外房線ほか）	千葉県
4位	133.8%	相模原（JR横浜線）	神奈川県
5位	127.9%	小田原（JR東海道新幹線ほか）	神奈川県
6位	126.6%	せんげん台（東武伊勢崎線）	埼玉県
7位	123.7%	木更津（JR内房線ほか）	千葉県
8位	123.5%	君津（JR内房線）	千葉県
9位	121.4%	藤沢（JR東海道本線ほか）	神奈川県
10位	121.3%	日進（JR埼京線ほか）	埼玉県
11位	120.7%	稲田堤（JR南武線）	神奈川県
12位	120.1%	八千代緑が丘（東葉高速鉄道）	千葉県
13位	119.9%	大袋（東武伊勢崎線）	埼玉県
14位	119.1%	流山おおたかの森（東武野田線ほか）	千葉県
15位	117.1%	深谷（JR高崎線ほか）	埼玉県

前年同時期と比較した「LIFULL HOME'S コロナ禍での問合せ数増加率ランキング」も併せて算出し、コロナ禍での生活環境の変化によって問合せの絶対数だけでなく、注目度が増減した街も発表いたします。

2019年の同時期と比較し、2020年に賃貸ユーザーからの問合せ数増加率が最も大きかったのは「八街」（対前年同期比146.2%）でした。千葉県郊外に位置し、JR総武本線で千葉や東京にもダイレクトアクセスが可能な街です。2位は「姉ヶ崎」（同140.3%）、3位は「大網」（134.7%）と「トップ3」は千葉県郊外エリアの街が占めました。4位以下にも「相模原」（同133.8%）、「小田原」（同127.9%）などいずれも都心から50km圏を超えるエリアに位置する街が並んでおり、コロナ禍における賃貸ユーザーの「郊外化志向」が明確に表れる結果となりました。

また、増加率ランキング上位にはJR内房線、JR高崎線、JR東海道本線、東武伊勢崎線をはじめ、都心・近郊から首都圏郊外まで延伸する長距離運行の鉄道沿線の街が数多く登場しており、「公共交通機関での通勤・通学にもスムーズな郊外」がコロナ禍で賃貸ユーザーに注目されていることがうかがえます。

なお、この「問合せ数増加率ランキング」に関しても【1都9県】までエリアを拡大した調査を実施したところ、1位は「みらい平」の161.0%、2位も「みどりの」の148.5%といずれも茨城県に位置し、つくばエクスプレス沿線の街が上位を獲得、首都圏版（1都3県）で1位の

「八街」が3位となっています。

【1都9県】版詳細は[こちら](#)をご参照ください。

「コロナ禍での問合せ減少率ランキング」首都圏版

大学リモート化の影響か？減少率1位「秋葉原」は5割強減、「新宿」「高田馬場」など学生で賑わう街も減少。上位15位のほとんどを都内が占める

LIFULL HOME'S コロナ禍での問合せ減少率ランキング

順位	増減率	駅名（代表的な沿線名）	都道府県
1位	43.9%	秋葉原（JR山手線ほか）	東京都
2位	44.3%	仙川（京王線）	東京都
3位	47.6%	西日暮里（JR山手線ほか）	東京都
4位	50.7%	笹塚（京王線）	東京都
5位	51.6%	菊川（都営新宿線）	東京都
6位	52.2%	飯田橋（JR中央線ほか）	東京都
6位	52.2%	高田馬場（JR山手線ほか）	東京都
8位	52.6%	新宿（JR山手線ほか）	東京都
9位	53.0%	浅草橋（JR総武線ほか）	東京都
10位	54.0%	水天宮前（東京メトロ半蔵門線）	東京都
11位	54.5%	戸越（都営浅草線）	東京都
12位	55.2%	山手（JR京浜東北・根岸線ほか）	神奈川県
13位	56.0%	蒲田（JR京浜東北・根岸線ほか）	東京都
14位	56.3%	門前仲町（東京メトロ東西線ほか）	東京都
15位	57.1%	南千住（JR常磐線ほか）	東京都

2019年の同時期と比較し、問合せ数の減少率が最も大きかったのは「秋葉原」の43.9%でした。2位以下も「仙川」（対前年同期比44.3%）、「西日暮里」（同47.6%）、「笹塚」（同50.7%）、「菊川」（同51.6%）と都心・近郊の交通・生活利便性のバランスが良い街が軒並み半分程度の間合せ数に激減し、6位「飯田橋」（同52.2%）、8位「新宿」（同52.6%）と以降も意外性のある街が減少率ランキングトップ10に名を連ねています。

また、「新宿」「高田馬場」など学生街のイメージもあるお馴染みの街も問合せ数減少を記録しており、「大学のリモート化」も1つの要因として考えられます。2020年4月に入学した学生は、コロナ禍を受け通学する機会がないままリモートで授業を受けている場合も多く、教育機関所在地周辺および沿線周辺に居住する必要がないことが、「学生街」の間合せ減少に繋がっているのかもしれませんが。

減少率ランキングに登場する街の多くが最寄り駅にターミナル性や交通条件が整っており、駅勢圏も広いことから、生活・仕事・余暇と全てがその街で完結し得るだけのポテンシャルがあります。しかし、コロナ禍にあってはこの繁華性・利便性が逆にあだとなり、「住みたい街」としての注目度が減少する要因になったと考えられます。

なお、「問合せ数減少率」ランキングは【1都9県】に調査エリアを拡大しても、問合せ数が大きく減少した街は都心・近郊にはほぼ集中していることから、首都圏を対象とした調査とまったく同じ順位の結果が得られています。

【1都9県】版詳細は[こちら](#)をご参照ください。

■調査概要

対象期間：2020年4月1日～2020年8月18日

対象者：LIFULL HOME'S ユーザー（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県を対象とした）

集計方法：

・コロナ禍での借りて住みたい街ランキング

LIFULL HOME'S に掲載された賃貸物件のうち、問合せの多かった駅名をそれぞれ集計

・問合せ増加率ランキング

LIFULL HOME'S に掲載された賃貸物件のうち、前年比で問合せ数の増加率が高かった駅名をそれぞれ集計

・問合せ減少率ランキング

LIFULL HOME'S に掲載された賃貸物件のうち、前年比で問合せ数の減少率が高かった駅名をそれぞれ集計

増加率・減少率ランキングは問合せ数上位500駅を対象

分析：LIFULL HOME'S総研

LIFULLグループは「あらゆるLIFEを、FULLに。」をコーポレートメッセージに掲げ、より多くのみなさまの暮らしを安心と喜びで満たす、住生活情報サービスを提供してまいります。

■株式会社LIFULLについて（東証第一部：2120、URL：[LIFULL.com/](https://www.lifull.com/)）

LIFULLは「あらゆるLIFEを、FULLに。」をコーポレートメッセージに掲げ、現在はグループとして世界63ヶ国でサービスを提供しています。

主要サービスである不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」をはじめ、空き家の再生を軸とした「LIFULL 地方創生」、シニアの暮らしに寄り添う「LIFULL 介護」、ママの子育てと仕事の両立を支援する「LIFULL FaM」など、人生・暮らしを豊かにするさまざまな領域に事業拡大しています。

LIFULLグループは、より多くの人々が心からの安心と喜びを得られる社会の実現のため「世界一のライフデータベース & ソリューション・カンパニー」を目指します。

